



防災士と考える 誰もが安心できる 地域の備え

災害時の心配ごと

- ✓ 防災の備蓄品はどれくらい必要？
- ✓ 高齢者の豪雨時避難のタイミングは？
- ✓ 赤ちゃんと一緒に避難所に行くと迷惑？
- ✓ 災害時にトイレが使えないってホント？
- ✓ 避難所で食事当番はどうやって決める？

✓ 知って安心、防災の知恵が満載

地震や大雨、自然災害は様々な地域で大きな被害をもたらしています。

災害情報に触れても、つい自分の地域は大丈夫と思っていませんか？

自分の住んでいる地域の特性を知って、高齢者や小さな子どもたちの安全を守る防災を考えます。

日時

9月13日(土) 10:00～12:00

講師

砂田紀子さん（特定非営利活動法人日本防災士会理事・防災士）

会場

花畑地域学習センター 2階 第1・2学習室

対象

区内在住・在勤・在学の方

定員

30人（要申込・8月12日から先着順）

参加費

無料

申込方法

電話、FAXまたはオンライン申請（足立区HP内）

保育

あり



こちらからも
お申し込みができます。

詳しくは裏面へ▶

申込・問合せ先

足立区 男女参画プラザ（多様性社会推進課）

電話：03-3880-5222（休館日を除く平日8:30～20:00受付）

FAX：03-3880-0133（24時間受付）

※都合により内容が変更、中止になる場合があります。ご了承ください。



知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI



講座内容

災害時には、高齢者や障がい者、乳幼児など配慮を必要とする人々が危険な状況に陥りやすく、多様な人々の安心・安全を守るジェンダー視点での防災が重要です。防災士として、誰もが安心できる地域防災を考え活動している講師とともに、自分ごととして防災・地域防災を考えます。

講師紹介

特定非営利活動法人日本防災士会理事・
日本危機管理士機構認定危機管理士・防災士

砂田紀子

2011年の東日本大震災後、地域防災の重要性に目覚め、世田谷区内で地域防災活動を開始。防災士資格を取得後、世田谷区内の防災塾や地域防災リーダー研修会講師など務める。現在は、都内の地域防災研修や日本防災士会研修会等で防災のジェンダー視点の重要性を考える活動を続けている。

申込方法

電話、FAXまたは足立区ホームページ内の
オンライン申請でお申し込みください。

電話 03-3880-5222

FAX 03-3880-0133

足立区男女参画プラザ 防災士と考える

検索



講座に参加する間、お子さんをお預かりします。

- 対象 生後6か月～就学前まで
- 定員 5人／要予約
- 申込期限 9月4日(木)まで



会場のご案内

花畑地域学習センター 2階 第1・2学習室
足立区花畑4-16-8

【竹ノ塚駅から】東武バス 竹15系統【竹の塚駅東口⇄花畑団地】「団地入口」下車5分、竹16系統【竹の塚駅東口⇄文教大学】「花畑区民事務所入口」下車7分

【綾瀬駅から】東武バス 綾40系統【綾瀬駅⇄花畑団地】「花畑三丁目」下車7分



参加申込書

FAX : 03-3880-0133

防災士と考える 誰もが安心できる地域の備え		9月13日(土) 10:00~12:00	
参加者名／ 年代	名前 (カタカナ)	年代 (あてはまるものに○) 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上	
お住まいの 地域	(例) 足立区梅田 ※町名まで		
連絡先	電話番号	FAX番号	
保育希望	保育を希望される方は、お子さんの名前(カタカナ)、年齢をお書きください。 お子さんのお名前 /年齢: 歳 ヶ月		

※ご記入いただいた個人情報は、今回の講座の受付以外の目的には使用いたしません。